

## R3年度 街頭キャンペーン (11月10日)

育成センターの活動として年間2回、鴨方駅と金光駅に関係者が集まり、標記の活動を行っています。通勤通学時の7時半から8時を中心に、『おはようございます。スマホの使い方に気をつけましょう!』と声を掛けながら、今回は万引き撲滅や自転車盗難防止のチラシの入ったクリアファイルを配りました。活動の中心は青少年育成活動協議会や青少年育成指導員、市内中学校・高校の先生方ですが、山陽高校の生徒のみなさんが、毎回ボランティア参加してくださり、爽やかな空気を吹き込んでくれています。この度は野球部の精鋭たち約10人が来てくださり、改札付近で活動してくれました。

また、この日は鴨方中学校の生徒会の「あいさつ運動」も鴨方駅で実施されており、中学生の元気な声も響いていました。



金光駅の活動風景



山陽高校の野球部員が大活躍!



鴨方中学校の生徒会役員

この他、育成センターの活動として「列車補導」や、夏には「夜間特別補導」「浅口花火大会の補導」また、「協調月間特別補導」(7月と11月は青少年育成強調月間です)や「歳末特別補導」があります。昨年度より新型コロナウイルスの影響で、実施できていない活動もありますが、関係者の皆様には大変お世話になっており感謝申し上げます。

### センス抜群!

鴨方中学校と言えば・・・

鴨中にお邪魔すると、渡り廊下に掲示してある、生徒への写真付きメッセージが目にとまります。4月からほぼ毎週1枚のペースで増えていき、今では20枚以上になっています。枚数もさることながら、そのセンスの良さがキラッと光るメッセージの一端をご紹介します。

『<sup>しゃっかく</sup>尺蠖の<sup>く</sup>屈するは伸びんがため』尺蠖とは「しゃくとりむし」のことです。部活動、修学旅行など、やりたくてもできないことが次々と出てくる今日このごろですが、みなさんの身も気分も縮みがちになっていないでしょうか。いずれは伸びるべく「その日」のために心を折らないようにして、力をたくわえていきましょう。～10月～

『**欠席でも一緒だよ**』班で考える時、欠席者の机もきれいに揃えています。5人だけど、気持ちは6人。そんな姿は美しいですね。～9月～(机を揃えた写真付き)

『**poco a poco**』音楽用語でしられる「ポコ ア ポコ」「エンジン全開!」も素敵ですが、ときには、「一歩ずつ」「ゆっくり ゆっくり」自分のあゆみ確かめて。～月不明～

外側から押し付けるのではなく、内側の気持ちを引き出してくれる、こんな素敵なメッセージの数々は、先生方が順番に作成されていると伺いました。

## 善行少年表彰

令和3年度の受賞者が決定しました。本年度は小学生と中学生が1名ずつ受賞しました。ご存知の方もいると思いますが、改めてご紹介いたします。

みやげこうた

三宅康太さん 六条院小学校6年生（男子）

児童会の代表として児童たちの挨拶をより良くするために、他の児童と協力し、朝の挨拶運動に熱心に取り組んでいる。また、学級活動や学校行事では、様々な役に積極的に立候補したり、任された仕事を責任もって取り組む姿勢は他の模範となっている。

ようしょう いすみ

葉上 泉さん 金光中学校3年生

生徒会執行部の副会長として、学校行事の企画・運営に積極的に取り組み、学校全体を引っ張っている。学習に意欲的に取り組み、丁寧に掃除をするなど日々の生活を大切にしており、また周囲を見て行動することができ、誰でも平等に接する姿は他の生徒の模範となっている。

### 『 意義ある他人 』

先日、市内の小学校の校長先生と、「話し方」について、校長室前の廊下で立ち話をしていると、『ちょっと待ってください』と言われて、校長室から一冊の本を手にして出て来られました。本の表紙には「**学びをつなぐ校長講話**」と書かれています。しばらくお借りすることを了解していただき、早速自宅で本を広げてみました。たくさん校長先生の個性に溢れた文章に、『ふむふむ』『なるほど』『そうか』と感心している時、ふと『私がこの内容を、見知らぬ子どもたちの前で読んだら、子どもたちの心に何かを訴えることができるだろうか？』と疑問が浮かびました。するとすぐに「子供たちの心に届かない」と結論が出ました。日頃の間人関係や信頼関係のない私が、どんなに上手に語ろうが、また、どれだけ深い内容であろうが、子どもたちの心には届かないと予想しました。

頭に浮かんだのはかなり前に聞いた「意義ある他人」という言葉です。相手にとって自分の存在が、意義あるものでなかったら、言葉は上滑りしてしまう。まずは信頼関係ありきなのだと思い返しました。

### 『 言葉 』

大人たちは子どもたちを前にして、言葉を巧みに操り、身振り手振りや抑揚をつけ、語り掛けます。そして、子どもたちの様子を見て『上手くいった』とか『失敗だった』と感じます。しかし、本当に相手の心に届いているかは、表情からは正確にはわかりません。

～想像力のない人に愛はない～ これは作家の曾我綾子さんの言葉です。言葉を発する時に想像力を発揮して、相手の心を意識して語る人には愛があるということでしょうか。

ある学校の着任式で、代表の先生が挨拶をしました。最初、生徒たちはずっと下を向いていました。しかし、『君たちが〇〇で発表する姿を観ました。それは・・・』と語りかけた瞬間に、“さ～～”と波が立つように生徒たちの顔が上がりました。

『私は自分が作りたい映画を作っているのではありません。みんなが見たい映画を作っているのです。』 三谷幸喜《NHK：プロフェッショナル》

『おはよう！の大人言葉は上から、おはようございます！とちゃんと言うことで、子どもは認められたと思う』 矢崎節夫《金子みすゞ記念館初代館長》

自分が言いたい事を言うのか、相手が聞きたいことを言うのか、信頼関係を築きながら、想像力を働かせて語りかけることが大切なのではないでしょうか。

